

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.2 * *

— 西島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部

後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

大小2群が分布，本格的な漁期入りは4月下旬か

調査の概要

2016年4月17日に西島牧海域においてコウナゴの初漁がありました。今年のコウナゴの初漁は、昨年（4月23日）より6日早まりました。初漁の漁獲物から採集していただいた標本を測定しましたので、結果をお知らせします。調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

漁期前調査と同じく 小型群と大型群の2群

上の図が漁期前調査，下の図が今回の初漁の体長組成です。初漁の漁獲物は主に体長15～18mmの小型群と，体長21～24mmの大型群に分かれていました。漁期前調査の小型群と大型群が2～4mmほど成長したものと考えられます。

大型群はほぼ漁獲適正サイズ（22mm以上）でしたが，小型群はまだ適正サイズに達していませんでした。4月下旬ころには小型群も適正サイズとなり，本格的な漁期に入ると予想されます。

今後の漁獲量や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと思っておりますので，引き続きご協力をお願いいたします。

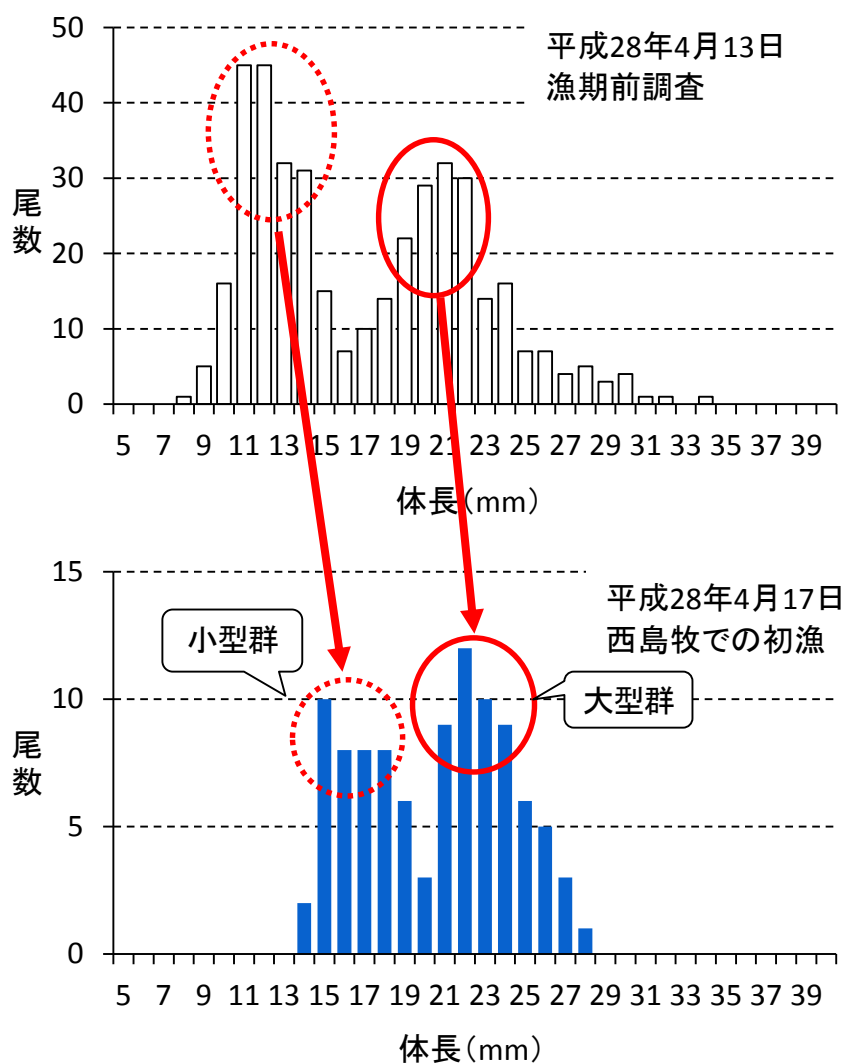


図 漁期前調査（上）と初漁（下）の体長組成